

CT検査における医療被ばくについて

CT検査はX線を用いて体の横断像（輪切り）を撮影する検査です。この検査により体の内部をより詳しく観察する事ができます。検査の所要時間は入室から退室まで10分から15分程度、撮影時間は5分程度です。

放射線被ばくを伴う検査であるため、CT画像情報を得ることによる利益の方が、被ばくによるリスクより大きいと医師が判断し、患者さんご自身が納得した場合にのみ検査を行います。

当院で行っているCT検査は、頭部で約2.4ミリシーベルト、胸部で約2.7ミリシーベルト、腹部で約9.3ミリシーベルトで、撮影部位や撮影範囲などにより差がありますが、いずれも低線量の被ばく量です。放射線は一度に大量の被ばくをすると発がん性など様々な悪影響がありますが、100ミリシーベルト以下であれば放射線による悪影響は確認されていません。当院でのCT検査は低線量の被ばく量であり、人体へのリスクはごく小さいと考えられます。

このことから、医師に勧められるCT検査については、患者さんの健康を守るために必要な検査であると考えられます。

当院では厚生労働省や関連学会のガイドライン等を参考に撮影条件を決定し検査を実施しています。

2025年3月10日 木村あおぞらクリニック 作成